

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

東武グループ経営理念

「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所とし、安全・安心を根幹に、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指す

営業利益
1,000億円以上

CO2削減率
30%

② 中長期の経営戦略

1. 成長をけん引する事業の確立

観光事業（ホテル業・スカイツリー業）と開発事業（まちづくり）を中核事業と位置付け、経営資源を重点配分

3. 新規事業の育成

人口減少を見据え、既存事業の領域を超えた新たな事業フィールドを探索し将来の収益源確立

2. 事業基盤の継続的な強化

首都圏広域エリアと多様な事業展開を活かし、デジタル技術で収益力・生産性向上とグループシナジー創出

4. 環境負荷低減と人的資本強化

奥日光エリアで「国際エコリゾート日光」確立、脱炭素推進。人材獲得・活躍環境づくり

③ 対処すべき課題

① 外部経営環境への対応

- ・物価・人件費・金利上昇への対策
- ・労働力不足の拡大への対応
- ・インバウンド需要の取り込み

② 収益構造の転換

- ・営業利益における非鉄道事業割合の増加
- ・観光需要を捉えた収益力強化

③ 持続的な事業運営体制

- ・東武スカイツリーラインと東京メトロ有楽町線の相互直通運転実施
- ・大型プロジェクトの進捗管理

面接で使えるポイント

- ・長期経営ビジョン「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」実現に向けた、2030年代半ばの営業利益1,000億円以上という目標
- ・観光事業とまちづくりを成長の中核に据え、インバウンド需要とホテル・スカイツリー事業で収益力強化
- ・2030年度CO2排出量30%削減を掲げ、奥日光の「国際エコリゾート日光」確立による環境対応

証券コード 9001

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
6,554億円営業利益率
11.0%財務健康度
38点 /100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 56.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
745万円

陸運業内 19位/57社

平均年齢
47.7歳

陸運業内 10位/57社

平均勤続
26.5年

陸運業内 1位/57社

女性管理職
2.8%

陸運業内 41位/46社

男性育休
98.0%

陸運業内 15位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 東武鉄道公式Xアカウントにて、スペーシア X運行3周年記念キ

